

ワンポイント家庭の医学

带状疱疹

子どもの頃、水疱瘡にかかったことがあると思いますが、この水疱瘡の水痘・带状疱疹ウイルスは、それ以後何十年も脊髄神経節や三叉神経節の中に潜伏しています。そして、体力が落ちたり免疫力が低下した時に再び増殖、活性化し、皮膚に痛みを伴った疱疹を起こすのです。これが带状疱疹です。

殆どは高齢になり、免疫力が低下してくると発症する事が多いのですが、最近では若い世代でも疲労が重なったり、ストレスが大きい時に発症したりします。

带状疱疹の場合、疱疹が出る2~3日前に前駆症状として、背中から腕の神経に沿って、また耳の上から頭の中や額の辺りにズキズキ・ピリピリした持続的な強い痛みが現われる事が多いものです。この時点で早めに病院へ行くと長引かせずに済みます。この病気は長引かせると神経痛としてずっと残ることも多いので、早めの対処が必要です。

日頃からバランスの良い食事と適度な休養を心かけていれば、それほど怖い病気ではないと思います。